

令和2年10月27日
大阪観光局

報道関係各位

《大阪観光局と高知県、高知県観光コンベンション協会 との包括連携協定締結について》

(公財)大阪観光局(理事長 溝畑 宏・ミヅハタ ヒロシ)と高知県(知事 濱田 省司・ハマダ セイジ)、(公財)高知県観光コンベンション協会(会長 岩城 孝章・イワキ タカアキ)は、下記の通り、観光を中心とする人口交流・文化交流など幅広い連携を通じ双方の地域活性化に繋がる包括連携協定を2020年10月27日(火)に締結いたしました。

大阪では2019年訪日外国人が1,200万人を越えたが、2020年に入ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済は大きなダメージを受けることとなった。

このような状況下、まずWithコロナに求められる三密を防ぐ観光素材など、国内観光需要の喚起を図りつつ、2025年の大阪・関西万博、さらにはその先のIR時代に備え、大阪が全国の観光資源の情報を発信し、来阪した観光客を送致する観光ショーケースとしての役割を担ってまいります。

高知県は雄大な太平洋に面し、変化に富んだ海岸線や四万十川、仁淀川に代表される清流、森林率日本一の緑深い山々など、美しく豊かな自然に恵まれています。

高知県は、これらの自然を活かした多様な体験コンテンツを有し、大阪の都市観光と組み合わせることで、それぞれが持たない魅力を共有し、お互いが補完し合うことにより、国内外の観光客を魅了する無限の可能性が創出され、相互の地域に経済波及果をもたらすことを目指していく。

1.包括連携協定の目的

大阪観光局と高知県及び高知県観光コンベンション協会は観光振興を中心に密接な連携を図り、訪日外国人を含む交流人口及び関係人口の拡大を推進し、もって地域の成長・発展を図ることを目的とする。

2.包括連携協定の概要

- ① 大阪・関西と地方都市を結ぶ新たな観光ルート・ツーリズムの開発に関する事
- ② 国内外に向けたセールス&プロモーションに関する事
- ③ 関西の拠点での観光情報の発信に関する事
- ④ 森林などを活用したツーリズムの研究に関する事
- ⑤ スポーツを通じた交流人口の拡大に関する事
- ⑥ 観光人材の育成・確保に関する事

以上